

「瀬戸内元気都市みはら」の実現へ、積極的予算を編成しました

平成27年度
予算

一般会計	482億8,400万円
特別・ 企業会計	366億6,600万円
合計	849億5,000万円

平成27年度の予算総額は、849億5,000万円と昨年度と比べて77億8,300万円(10.1%)増加しました。一般会計予算は、地方創生に向けて新長期総合計画を推進し、新市建設計画事業を着実に遂行するための積極的予算を編成し、「瀬戸内元気都市みはら」の実現に向けて、観光・交流の活性化、防災対策などに取り組みます。

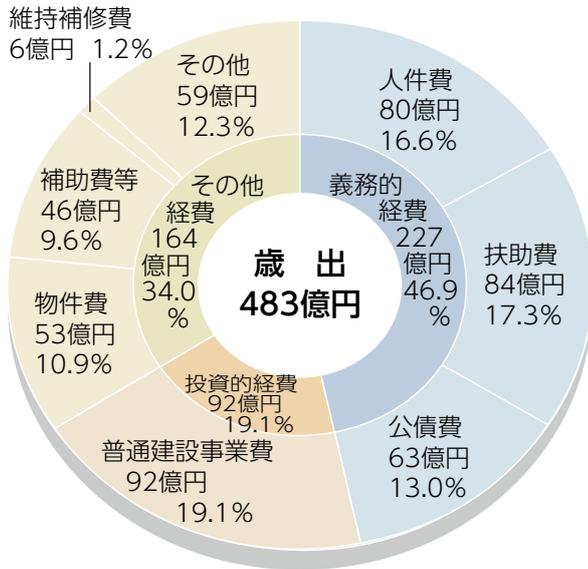


三原市長 天満祥典

合併から10年が経過し、平成27年度は今後10年間のまちづくりを定めた長期総合計画の初年度となります。この構想ではこれからの10年間を、「活力」と「安心」を基盤とし、市の主体性と独自性を発揮する中で、「元気な三原」の実現に挑戦する期間と位置づけました。その具体的な方策を定めた長期総合計画基本計画「みはら元気創造プラン」では、「元気な三原」を実現するための5つの挑戦を定めました。今年度をスタートとし、本市の地域特性や地域資源、人材など、それぞれが持つ可能性を見つけ、磨き、つなぎ合い、活用し、発信していくことで、本市の持つ魅力をより一層向上させ、誰もが「行きたい・住みたい・つながりたい」と思えるまちづくりを進めていきます。

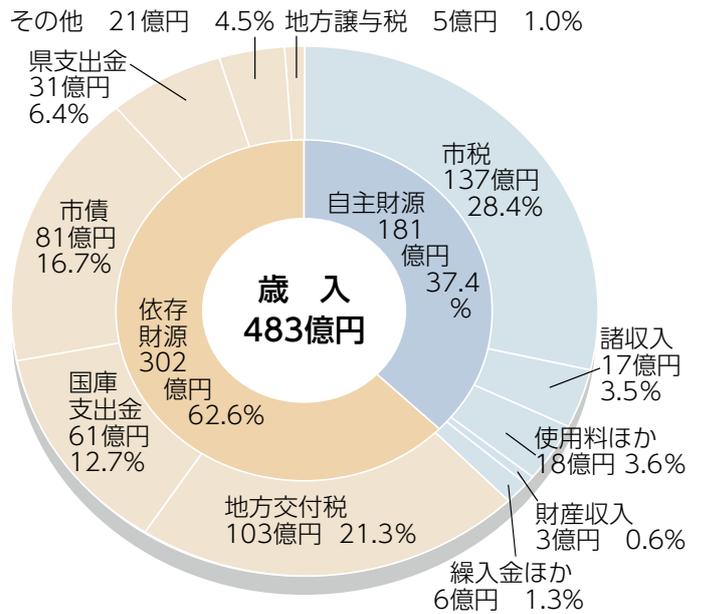
財政課 ☎0848・67・6028

一般会計(歳出)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。

一般会計(歳入)



※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

地域の文化と多様な人材を育むまち



▲市民や観光客の憩いの場となる三原城跡周辺(完成イメージ)

【生涯学習、文化・スポーツ】
●三原城跡周辺整備事業
.....9,134万円
天主台堀周辺にトイレや案内板を設置

するなど、公園整備を今年度から2カ年で実施
●白竜湖スポーツ村公園改修事業
.....1,650万円
敷地内の傷んだ舗装をインターロッキング舗装に改修

【教育】
●学校建設事業(本郷西小学校)
.....5億8,730万円
本郷地域の北方・船木・南方小の3校統合に伴い、南方小を統合小学校として既存校舎を改修、新校舎棟を建設し、外構を整備

新しい三原をつくる協働のまち

今年度を実施する重点施策と予算について、長期総合計画の中で掲げる5つの基本目標に基づいてお知らせします。

平成27年度重点施策と予算

【人権・男女共同参画】
●男女共同参画推進事業...265万円
男女共同参画社会への理解をより深めるため、情報誌「with YOU」の発行を年1回から2回へ増刊

【元気な地域】
●町内放送施設設置費補助事業
.....1,200万円
災害時一斉情報伝達手段整備事業の前倒し事業として、FM告知端末ラジオの設置を希望する町内会組織に宅内工事費の2分の1を補助

多様な産業と多彩な交流による活力あるまち

〔農林水産業〕

●林道整備事業…4億8,760万円
三原・大和地域での林道整備を継続。久和喜竜王線は今年度末に完成予定



▲景観にも恵まれた久和喜竜王線

●高坂自然休養村再整備事業

……900万円
賑わいを取り戻すため、管理棟やキャンプ場などの再整備に向けた設計業務

●農業基盤整備促進事業

……2,250万円
園芸作物に適した生産環境を整備し、農業生産法人の経営を安定化

〔商工業・サービス業〕

●びんご産業支援コーディネーター派遣事業(備後圏域連携事業)…24万円
新商品・新技術開発などを行う中小企

業に、産業支援コーディネーターを5回まで無料で派遣

〔交流・連携基盤〕

●マイナンバー制度事業

……3億1,316万円
国民に個人番号を付番し、社会保障や税制度の透明性確保などに役立てるマイナンバー制度の10月運用開始に向け、電算システムを整備・改修

〔観光・交流〕

●瀬戸内三原築城450年事業
……5,826万円



▲三原浮城まつりの甲ちゅう行列

健やかに暮らせる人に優しいまち

〔子ども・子育て〕

●放課後児童クラブ建設事業
……1億4,175万円



▲児童が安心して過ごせる場として放課後児童クラブを新設・改修

南方・西宮・幸崎・沼田東放課後児童クラブを建設・改修

●母子生活支援施設開設助成事業

……2,000万円
今年度に社会福祉法人が新規開設する母子生活支援施設の開設に係る費用を助成

●小規模保育事業費補助事業

……1億149万円
0～2歳の乳児を受け入れるため、新たに私立3保育所を認可し、小規模保育事業を実施

〔健康・医療〕

●健康みはら21計画推進事業

……1億2,445万円
健康診査のがん検診で、胃カメラ検査と低い放射線量で詳細な検査ができる低線量CT検査(肺がん検診)を新たに実施



▲低線量CTによる肺がん検診

〔福祉・介護〕

●生活困窮者自立支援事業

……1,140万円
専門資格を持った相談員を配置した生活困窮者自立支援相談センターを開設し、生活困窮者からの相談に包括的に対応し、自立に向けた支援を実施

●認知症初期集中支援チーム設置事業

……737万円
医師を含む専門職による支援チームを設置して認知症患者の早期診断・早期対応を行い、患者本人と家族をサポート

安心して快適・安全に住み続けられるまち

〔防災〕

●コミュニティFM局開設支援事業
..... 270万円

地域情報の発信手段となるコミュニティFM局の開設に向け、具体的な事業の採算性や市場ニーズを調査する費用を助成

●新庁舎建設事業.....1,570万円
市役所新庁舎の建設について現地で建て替への方針に基づき、基本計画を策定



▲市民からも利用しやすい庁舎のあり方を聞き取り

●空家等対策計画策定事業
..... 740万円

生活環境の保全、空き家の利用促進のため、国の基本指針に基づいた空き家対策計画を策定

●屋外拡声子局整備事業
..... 1億6,730万円

災害時一斉情報伝達手段の実施計画に

基づき、市内59カ所に屋外拡声子局を設置

●学校耐震補強整備事業
..... 24億745万円

耐震診断などの結果に基づき、鷺浦・須波・田野浦・沼田東小で耐震補強、第三中学校で新校舎棟の建設と既存校舎の改修、西幼稚園で新園舎の建設工事を実施。今年度中に市内中学校・幼稚園の耐震化率100%を達成

〔生活の安全安心〕

●防犯カメラ設置費補助事業
..... 600万円

地域の防犯と安心・安全な暮らしの確保のため、防犯カメラを設置する町内会や自治会などに対し、1台当たり20万円を限度に補助



▲地域の防犯と安心・安全な暮らしにつながる防犯カメラ

●消防本部(署)庁舎建設事業
..... 5億2,200万円

宮浦浄水場跡地を予定地とし、消防本部(署)庁舎建設のための用地購入と実

施設計を実施

●(仮称)久井出張所建設事業
..... 1,644万円

(仮称)久井出張所建設のための用地購入と測量・実施設計を実施

〔環境〕

●家庭用燃料電池システム設置費補助事業
..... 200万円

住宅に家庭用燃料電池システム(エネファーム)を設置する人に1件当たり10万円を限度に補助

●古紙拠点回収コンテナ設置
..... 300万円

再資源化促進のため、三原・本郷・久井・大和地域の各1カ所に古紙などを回収するコンテナを設置

〔生活基盤〕

●都市計画マスタープランと立地適正化計画の策定事業.....760万円

長期総合計画で示された将来像や社会情勢の変化を踏まえ、都市計画マスタープランとコンパクトなまちづくりを実現する立地適正化計画を策定

計画の実現に向けて

〔透明性の高い行政運営と情報発信〕

●会議録作成事業.....504万円



▲市議会もより正確な情報公開をめざします

常任委員会の会議録を作成し、より正確な情報公開を実現

〔地方分権型社会に対応した行政運営〕

●ふるさと納税推進事業
..... 1,932万円

大手ふるさと納税専門サイトを利用し、情報発信を強化するとともに、インターネットでのクレジット決済システムを導入して寄附者の利便性を向上

地方創生へ〜平成26年度2月補正予算

地方の景気を下支えする経済対策として国が計上した補正予算「地域住民生活等緊急支援助交付金」を活用し、「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」からなる平成26年度2月補正予算を計上しました。

〔地域消費喚起・生活支援型〕

●地域消費喚起事業費

……………1億4,400万円
市内の消費拡大と商工業者の売り上げ増進のため、商工会議所と臨空商工会が発行するプレミアム付商品券(1万円で1万2,000円分、65,000

冊を発行予定)へ補助

〔地方創生先行型〕

●地方版総合戦略策定事業費

……………1,130万円
平成31年度までの5カ年の実施期間とする地方版総合戦略を策定

●中山間地域未来創造事業

……………2,000万円

宇根山天文台、道の駅「よがんす白竜」を核とし、誘客・周遊施設を整備

●起業化促進支援事業……………600万円

産学官金の連携により設置する起業化促進支援拠点の運営費を補助し、起業意識の醸成、創業に必要な知識の習得などを支援

●地産地消推進モデル事業……………300万円

久井・大和地域の農作物を東部共同調

理場へ出荷搬送するため、運搬にかかる費用の実費を補助

●定住環境創生事業費……………350万円

定住促進を目的に、空き家バンク物件の改修費と仏壇など家財の撤去費を補助

●子ども子育て環境創生事業費

……………3,180万円
7月から、乳幼児などの医療費助成の対象者年齢を小学校卒業から中学校卒業までに拡大

合併10周年記念事業

今年3月に平成17年の合併から10周年を迎えた三原市。これを記念し、今年度はさまざまな記念事業を実施します。

●大和花火大会実行委員会補助

……………300万円
大和町和木の白竜湖周辺の花見シーズンに合わせ、花火大会を開催(詳しくは、今月号15ページに掲載)

●「大人への入門式」の開催

……………100万円
未来の三原市の担い手となる子どもたちに大人になるための自覚を持たせるため、全中学1年生を対象に「大人への入門式」を開催

●原動機付自転車ご当地ナンバープレート作成……………149万円

市のPRや郷土愛を育むため、125ccまでの原動機付自転車のご当地ナンバープレートを作成

●生涯学習市民講座開催事業

……………142万円
ふるさと三原に対する市民の理解を深めるため、生涯学習市民講座の講師として三原市名誉市民を招へい

合併10周年記念式典と郷土芸能披露

ところ 芸術文化センター ポポロ ホール

合併10周年記念式典

29日(水・祝) 10時~12時30分

内容 功労者表彰、公式 Mascot キャラクター発表、「合併10年の歩み」DVD上映、小学生の夢作文発表、アトラクション(宮浦中学校吹奏楽部演奏、やっさ踊り、やっさ太鼓)

郷土芸能披露

29日(水・祝) 13時30分~17時45分

演目(出演団体) こども神楽(大和神楽こども研究クラブ)、小坂ちゃんこんかん踊り(小坂町内会)、祇園踊り・獅子舞(泉祇園踊り保存会)、獅子太鼓(幸崎町能地春祭保存会)、臨空港都市ほんごう大音頭(本郷町女性会)、ひよっとこ踊り(神田ひよっとこクラブ)、安芸本郷太鼓(安芸本郷太鼓同好会)

☎総務広報課 ☎0848・67・6007